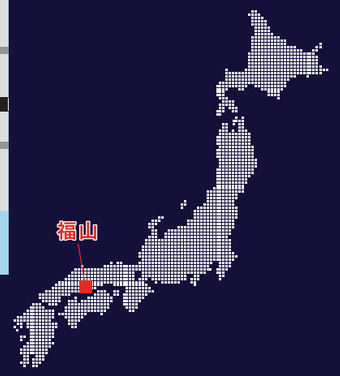




本社［旧第二工場事務所］	〒720-0202 広島県福山市鞆町後地 242-1 TEL (084) 982-1122　FAX (084) 982-1125
Main Office	242-1, Ushiroji,Tomo-cho, Fukuyama-shi, Hiroshima, 720-0202, Japan
第一工場（修繕）［旧本社工場］	〒720-0202 広島県福山市鞆町後地 1717
第二工場（新造、修繕）	〒720-0202 広島県福山市鞆町後地 26-102
第三工場（ブロック製造）	〒720-0202 広島県福山市鞆町後地 26-95
URL	https://hongawara.co.jp/
E-mail	（代表）info@hongawara.co.jp

ClassNK ISO 9001　JAB MS CM005

本瓦造船株式会社は、商船及び官公庁船の設計・開発・製造及び修理において、品質マネジメントシステムの国際統一規格である【ISO9001】の取得企業としての認証を受けました。

2024 年 5 月　第 6 版

本瓦造船株式会社
HONGAWARA SHIP YARD CO.,LTD

会社案内

COMPANY PROFILE

ものづくりを通じて顧客の満足と社員の幸せを追求する





The Pursuit of Happyness

経営理念

01　魂を込めて船をつくり、お客様の期待と信頼に応える会社になる

02　仕入先、取引先を大切にし、共に成長するとともに地域社会から愛される会社になる

03　ものづくりを通じて、社員の生活が豊かになり、生き甲斐をみつけられる会社になる

行動規範

01　**顧客満足**
誠実、迅速、丁寧に行動し、最高の品質とサービスを提供する

02　**社員満足**
安全、衛生的な職場環境と風通しの良い職場風土をつくり、共にものづくりの喜びを分かち合う

03　**人と会社の成長**
さまざまな船舶の建造に挑戦し、造船技術者として一生をかけて腕を磨き続ける

品質方針

私たちは顧客の立場に立ったものづくりを実践し、最高の品質とサービスを提供します。

当社はＩＳＯ９００１認証取得企業として、品質マネジメントシステムに基づき、常に組織の状況及び利害関係者のニーズを考慮しながら、組織の戦略的方向性の実現に取り組んでいくと共に、クレームと品質不具合の撲滅を目指して、真の原因究明と徹底的な改善に取り組んで参ります。
また、労働環境の継続的な改善にも積極的に取り組んでいき、安全・安心な職場環境と効果的な人材育成の仕組みを構築していきます。

PHILOSOPHY



お客様の期待と信頼に応える

本瓦造船株式会社は昭和 24 年（1949 年）に創業者本瓦卓蔵が木造船業を立ち上げたのが始まりでした。当社は狭く限られた工場敷地の中で、内航ケミカルタンカー、タグボート、旅客フェリー等の高付加価値船の建造に取り組み、これまで 600 隻余りの船舶を海に送り出してきました。豊富な経験と実績で培われた小型船建造ノウハウにより、多くのお客様から「小型特殊船ならホンガワラ」と長年に渡り御愛顧いただいております。

造船は、それぞれ専門の職人が力を合わせて手作りで船を組み上げる「ものづくり」業です。当社は社員一人ひとりが造船職人としての誇りを持ち、精魂込めて一隻の船を造りあげ、お客様の期待と信頼に応えることを信条としております。

近年、内航船は毎年のように新しい規制や政策に対する動きが出ており、こうした時代が変化するスピードは益々速くなっています。

高い製造品質を維持するため社内一貫生産にこだわりつつ、常に新しい船型、船種に挑戦し、多様化するニーズに応えるべくこれからも船舶建造技術の研鑽に努めてまいります。

代表取締役社長　本瓦　誠

技術と信頼でニーズに応える

HIGH QUALITY

私たちは小型特殊船の建造・修繕において品質 No.1 を目指しています

当社は、国内を航行するタンカーを主力に、様々な船舶を建造しています。
特に、ケミカルタンカーは「動く化学プラント」とも呼ばれ、引火性液体類や液体化学薬品などの取り扱いが危険な荷物を運ぶため、厳しい安全基準が要求され、建造には高い技術力と製造能力が必要とされます。

生産・技術

当社が年間に建造する船舶は実に 10 隻以上。これだけの隻数の建造を可能にするのが、効率的な工場レイアウトと豊富な建造実績に裏付けられた独自の技術力と製造力です。

累積建造隻数
640 隻
以上

年間建造隻数
約 10 隻

自社生産率
100%

年間上架修理隻数
約 50 隻

建造実績
5 - 749 G/T

新造船台寸法
長さ 90m × 幅 16m × 2,000G/T

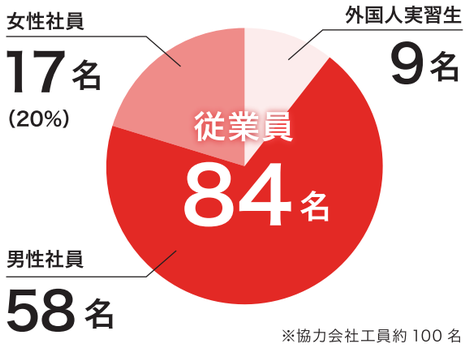
直近 10 年の建造隻数 110 隻

ケミカルタンカー 41 隻	オイルタンカー 10 隻	押船・曳船 8 隻	客船・フェリー 4 隻	セメント船 2 隻
貨物船 2 隻	官公庁船（防衛省） 9 隻	官公庁船（海上保安庁） 4 隻	バージ 4 隻	小型船舶 26 隻

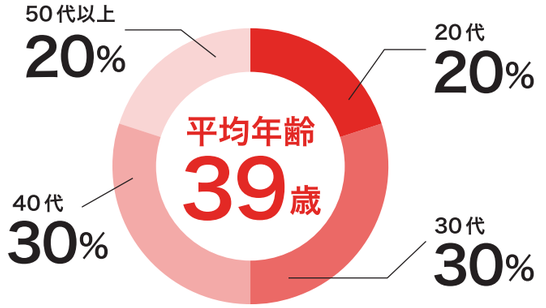
（2012 年～2021 年）

組織・人材

若い世代が中心となり、女性や外国人スタッフも活躍しています。近年では職場環境の改善や仕事と家庭の両立支援など、積極的な働き方改革に取り組んでいます。



※協力会社工員約 100 名



（2022 年 4 月現在）

歴史

本社工場から創業した当社は、木造船の建造からはじまり、70 年以上の歴史を積み重ねた現在も、その技術力は脈々と受け継がれています。

創業1949年（昭和24年）







PRODUCT



シップ・オブ・ザ・イヤー 2021 受賞

G/T 196　ケミカルタンカー
主要寸法：長さ 40.0 m × 幅 8.0m × 深さ 3.3 m
載貨容積：200 ㎥
載貨重量：393 ton
積載品目：水酸化ナトリウム水溶液 他

次世代省力化船
（スマートアシストシップ）

３つの最新デジタル技術（集中荷役遠隔・離着桟支援・遠隔監視システム）を搭載し、船員の荷役作業・係船作業・監視業務を支援することで、労務負荷の軽減と省力化を実現することが可能となりました。

建造実績

ケミカルタンカーを中心に、多種多様な船舶をこれまで 640 隻以上建造してきました。
この豊富な経験と実績で培われたノウハウが、お客様の様々なニーズに応えられる原動力となっています。



ケミカルタンカー

G/T 499
主要寸法：長さ 61.0 m× 幅 10.2 m× 深さ 4.5 m
載貨容積：1230 ㎥
載貨重量：1200 ton
積載品目：白油、液体化学薬品 他



ケミカルタンカー（トップサイドタンク搭載船）

G/T 499
主要寸法：長さ 61.0 m × 幅 10.9m × 深さ 4.6 m
載貨容積：1295 ㎥
載貨重量：811 ton
積載品目：水酸化ナトリウム水溶液 他



ケミカルタンカー（電気推進船）

G/T 498
主要寸法：長さ 61.8 m× 幅 10.0 m× 深さ 4.5 m
載貨容積：1230 ㎥
載貨重量：1246 ton
積載品目：白油、液体化学薬品 他



ケミカルタンカー（硝酸専用船）

G/T 365
主要寸法：長さ 50.0 m× 幅 9.4 m× 深さ 4.0 m
載貨容積：474 ㎥
載貨重量：800 ton
積載品目：硝酸



ケミカルタンカー（硫酸専用船）

G/T 199
主要寸法：長さ 39.5 m× 幅 8.2 m× 深さ 3.6 m
載貨容積：179 ㎥
載貨重量：395 ton
積載品目：硫酸



ケミカルタンカー（塩酸専用船）

G/T 199
主要寸法：長さ 43.0 m× 幅 7.8 m× 深さ 3.4 m
載貨容積：318 ㎥
載貨重量：399 ton
積載品目：塩酸



液化ガスばら積船

G/T 534
主要寸法：長さ 55.0 m× 幅 10.8 m× 深さ 4.5 m
載貨容積：707 ㎥
載貨重量：910 ton
積載品目：アセトアルデヒド



オイルタンカー

G/T 480
主要寸法：長さ 61.0 m× 幅 10.2 m× 深さ 4.5 m
載貨容積：1199 ㎥
載貨重量：1277 ton
積載品目：A・C 重油、潤滑油、軽油



オイルタンカー

G/T 348
主要寸法：長さ 48.2 m× 幅 9.2 m× 深さ 4.1 m
載貨容積：710 ㎥
載貨重量：715 ton
積載品目：LSA・LSC 重油、軽油



オイルタンカー

G/T 299
主要寸法：長さ 45.0 m× 幅 9.2 m× 深さ 4.3 m
載貨容積：799 ㎥
載貨重量：822 ton
積載品目：A・C 重油、軽油



ハイブリッド水素燃料電池船

水素燃料電池、リチウムイオンバッテリー、バイオディーゼル燃料から動作モードを選択して航行できる日本で初めてのハイブリッド型電気推進船。
旧来の化石燃料と比較してCO2排出量の53〜100%削減を実現します。

G/T 238　旅客船
主要寸法：長さ 29.7m × 幅 10.0m × 深さ 3.7m
旅客定員：103 名
用途：クルーズ客船
主要航路：関門海峡（福岡県）



セメント船

G/T 313
主要寸法：長さ 52.0 m × 幅 10.2 m × 深さ 5.5 m
載貨容積：669 ㎥
載貨重量：907 ton
積載品目：粉体セメント



旅客船

G/T 390
主要寸法：長さ 42.0m× 幅 10.0 m × 深さ 5.3/2.9 m
旅客定員：500 名
用途：うずしお観潮船
主要航路：鳴門海峡（兵庫県）



官公庁船（防衛省支援船）

G/T 147
主要寸法：長さ 27.0 m × 幅 8.6 m × 深さ 3.6 m
主機関：出力 956 kW (1300 PS)×2 基
推進装置：全旋回式コルトノズル付プロペラ



官公庁船（海上保安庁巡視艇）

G/T 26
主要寸法：長さ 20.0 m × 幅 4.5 m



タグボート（引船）

G/T 199
主要寸法：長さ 33.5 m × 幅 9.0 m × 深さ 3.9 m
主機関：出力 1323 kW (1800 PS) × 2 基
推進装置：全旋回式コルトノズル付プロペラ



貨物船

G/T 498
主要寸法：長さ 70 m × 幅 12 m × 深さ 7.2 m
載貨容積：2751 ㎥
載貨重量：1698 ton
積載品目：鋼材、一般貨物



消防船（オイルフェンス展張船・引船）

G/T 146
主要寸法：長さ 36.0 m × 幅 9.4 m × 深さ 5.3 m
主機関：出力 1323 kW (1800 PS) × 2 基
推進装置：全旋回式コルトノズル付プロペラ



消防船（油回収船）

G/T 165
主要寸法：長さ 39.3 m × 幅 9.4 m × 深さ 5.3 m
主機関：出力 1323 kW (1800 PS) × 2 基
推進装置：全旋回式コルトノズル付プロペラ



小型船舶（作業船）

G/T 19
主要寸法：長さ 8.2 m× 幅 8.0 m × 深さ 4.3 m
主機関：出力 590 kW (802 PS) × 1 基
推進装置：全旋回式コルトノズル付プロペラ



小型船舶（引船・二層甲板船）

G/T 19
主要寸法：長さ 23.6 m × 幅 5.4 m × 深さ 1.7 m
主機関：出力 435 kW (591 PS)×2 基
推進装置：固定式コルトノズル付プロペラ



開発力・技術力

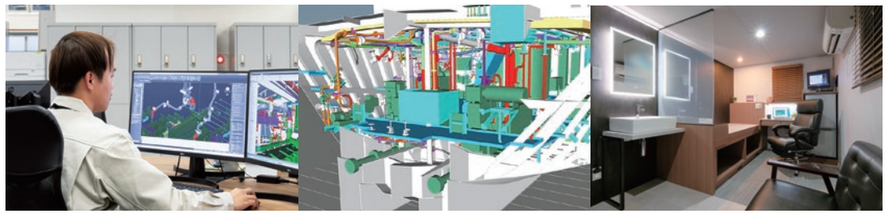
当社の手がける船舶は、仕様や構造が複雑なものが多く、お客様のニーズも多種多様です。そのニーズに柔軟に対応する力こそ当社の強みであり、そこには長年培ってきた開発力と技術力があります。

最適な船型開発



これまでの建造実績を活かして、お客様のニーズに合わせた最適な船型をご提案いたします。
当社の手がける新造船の半数以上は新規設計船でもあることから、水槽試験や流体解析（CFD）による検討を繰り返し行い、推進性能に優れた最適な船型開発を行っています。また環境性能や燃費性能に配慮した最適な省エネデバイス（フィン、省エネ型プロペラ等）も積極的に導入しています。
特にケミカルタンカーは積載貨物の物性により、各種ステンレスをはじめ、ゴム被膜、フッ素樹脂被膜など様々な貨物タンクに対応しています。

ニーズに応える設計



設計段階においても既存船型にこだわらず、お客様のご要望に応じて積荷や航路にマッチする最適な船型や仕様をご提案いたします。
これまで培ってきた小型船建造技術を活かして、限られた総トン数内で最大限の貨物槽容積と居住スペースを確保する設計を実現します。
また船体構造の改良や防振パネルを設置することで振動・騒音の少ない居住環境の設計にも取り組んでいます。

一貫した生産管理体制



当社の製造ラインは材料加工から組立、搭載、艤装まですべて自社工場内で生産しています。
工場には厚板NCプラズマ切断機や型鋼NCプラズマ切断機などの最新設備も導入しています。
これらの製造ラインと設備により、短期間で安全かつ効率的な製造が可能となり、高品質でコストパフォーマンスの高い船舶の建造を実現します。

品質管理

お客様にご満足いただける高品質な船舶を建造するため、厳しい品質管理基準のもと、専門スタッフが各製造工程で日々様々な検査業務を行い、徹底した品質管理に取り組んでいます。

社内検査



専門の検査スタッフが船体ブロック等の仕上がりを細かい目でチェックしていきます。

検査機関による立会検査



JGやNKなど検査機関の検査官が現場に立ち会い、法令に基づく検査が行われます。

カラーチェック



ステンレスタンクの溶接部表面の微細な欠陥を特殊な検査液で着色することで見つけ出す検査を行います。

X線検査



船体外板やタンクの溶接部は内部の欠陥まで調べるためにX線透過検査を行います。

圧力試験



タンクや配管の水密性や耐圧性を調べるため水圧試験や気密試験を行います。

機器類の作動確認



ポンプ類をはじめ、全ての機器類及び船内設備の作動を確認していきます。

安全衛生管理

安全・安心な職場環境を実現するため、日々のパトロールや継続的な改善活動、新たな管理手法への取り組みなど、全社一丸となって積極的な安全衛生管理に取り組んでいます。

安全・5Sパトロール



工場内の安全や整理整頓の状態を厳しい目で頻繁にパトロールを実施しています。

設備一斉点検



クレーンや溶接機から吊具やワイヤーまで全ての設備の点検を定期的に行っています。

安全衛生会議



災害対策やパトロールの講評を行い、情報の共有と全社への展開を図っています。

防災訓練



従業員の安全衛生・防災・防犯意識を高めるために、様々な訓練や講演会を行っています。

はつらつ診断



メンタルヘルス対策として専門機関と連携し、従業員一人一人のケアを行っています。

HSE（労働安全衛生、環境）への取り組み



さらなる安全衛生管理に取り組むべく、HSEマネジメントシステムの導入を目指しています。

一貫した生産管理体制

1 引き合い



お客様のご要望にもとづき、当社が船の全体像とおおまかな仕様書を作成し、お客様に提案します。実際の受注に至るまでに、お客様と何度もコミュニケーションを重ね、お客様の想いを形にしていきます。

2 契約



提案が認められ、船価や納期が決まれば、晴れて契約となります。契約を結んで正式に建造プロジェクトが動き出します。

3 設計



これまでに決まった仕様にもとづき、実際の製造に向けて設計作業に取りかかります。設計は各分野（船体・機関・電気・配管など）で様々な検討が行われ基本設計→詳細設計→生産設計と進めていきます。ここが当社の技術的なノウハウの見せ所となります。

4 起工



ここからいよいよ本格的な製造に入ります。製造に先駆けて、まず起工式という神事を行います。ここでは工事の安全を祈り、仕事始めとしてキール（竜骨）という部分の溶接から始めます。

5 切断加工



船の部材となる鋼板を切断する加工を行います。切断加工はNCプラズマ切断機で自動的に切断が行われます。この切断機により、無駄なく正確なサイズに鉄板が切断されていきます。

6 曲げ加工



船の部材となる鋼板を曲げる加工を行います。曲げ加工にはぎょう鉄という作業があり、ガスバーナーによる加熱と水による冷却を繰り返しながら、職人が一枚ずつ手作業で曲げていきます。このぎょう鉄作業には、長年の経験と勘を必要とする熟練の技が求められます。

7 ブロック組立



切断・曲げ加工された部材をブロックに組み立てていく工程です。ブロックとは、船体をいくつかの区画に分割したものです。溶接やクレーンを使って小さな部材から徐々に大きなブロックに組み立てられていく様子はまるで巨大なプラモデルを作っているかのようです。

8 船体組立



ブロックを船台でつなぎ合わせて船体を組み立てていく工程です。いくつものブロックが大型クレーンで吊り上げられ、搭載されていく様子は圧巻です。ここでは船体に塗装も施され、徐々に船らしい姿になっていきます。

9 進水



船体が出来上がると、陸上での作業は終わり、いよいよ進水となります。ここでは進水式という神事が行われ、お客様と共に進水を祝います。当社の進水では船が船台から勢いよく滑っていき、その様子は迫力満点です。進水こそ造船の仕事の醍醐味と言えるでしょう。

10 艤装（ぎそう）



進水した船は桟橋に係留され、艤装工事が行われます。艤装とは船の配管や機関室、居住区、電気設備、各機器などを仕上げていく工程です。
様々な担当分野の作業員が集結し、現場は次第にあわただしくなり、作業は大詰めをむかえます。

11 試運転



ほぼ完成状態になった段階で、実際に海上を試験的に航行する試運転を行います。ここでは船の速度や旋回などの各性能や各機器の作動状況を入念に確認し、最終的な調整を行います。

12 竣工



全ての作業が完了し、一隻の船が無事完成しました。ここで最後に竣工式という神事が行われ、これからの航海の安全を祈願し、お客様に引き渡します。これで建造プロジェクトは終了となります。

修繕部門

建造後のアフターサービスとしてG/T5 ～ 749 トンの船舶を年間約 100 隻修繕しています。

浮きドック



船体整備



機関整備



完成した船はその役目を終えるまで約20年と言われています。その間に定期的な整備やトラブル対応など様々なメンテナンスが必要となります。そのメンテナンスを修繕といいます。当社では建造後のアフターサービスも一貫した生産管理体制の中の一つと位置づけて修繕業務を行っています。修繕部門では「船の一生を守る、かかりつけ医師」として専門スタッフを揃え、船体の改修工事や主機関・発電機関等の開放整備、各機器の点検整備などを行います。船主様に毎回ご満足いただける品質を目指して、日々修繕サービスの向上に取り組んでいます。

当社は船舶の計画、設計、材料加工、組立まですべて社内で生産しています。
NC 切断機などの最新設備を導入し、作業の効率化・安全化を図り、高品質かつコストパフォーマンスの高い船舶の建造を目指しています。

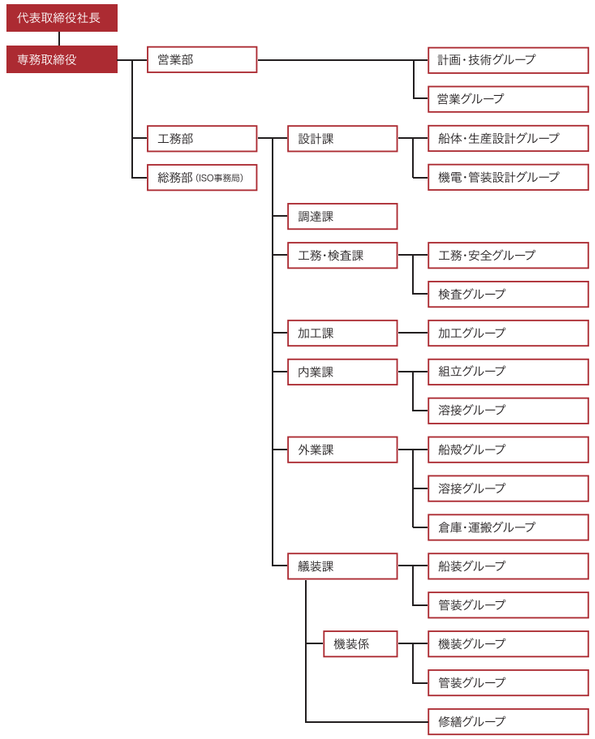
MANAGEMENT SYSTEM

PROFILE

会社概要

名　称	本瓦造船株式会社
代表者	代表取締役社長　本瓦 誠
事業内容	各種小型鋼船・鉄鋼構造物の製造及び修理
登録・許可	（第一工場）小型船造船業登録 中小鋼造 第102号 （第二工場）船台新設許可 中国海産 第121号 船台拡張許可 国海産許 第2621号、2649号 浮ドック新設許可 中国海産 第134号 （第三工場）小型船造船業登録 中小鋼造 第19号
建造船級	JG、JCI、NK、LR他
設　立	昭和24年4月
資本金	57,500,000円
従業員数	社員80名、協力会社工員約100名
所在地	本社［旧第二工場事務所］ 〒720-0202 広島県福山市鞆町後地242-1 TEL (084) 982-1122　FAX (084) 982-1125 第一工場（修繕）［旧本社工場］ 〒720-0202 広島県福山市鞆町後地1717 第二工場（新造、修繕） 〒720-0202 広島県福山市鞆町後地26-102 第三工場（ブロック製造） 〒720-0202　広島県福山市鞆町後地26-95
主要取引先	全国各海運会社、防衛省、国土交通省、全国各地方公共団体など
主要取引銀行	広島銀行 鞆支店 中国銀行 鞆支店 しまなみ信用金庫 鞆支店 商工中金 福山支店 もみじ銀行 福山南支店

組織図



沿革

1949 年 4 月	本瓦卓蔵が個人経営で木造船業を始める。
1964 年 1 月	小型鋼船の建造を開始。
1972 年 2 月	株式会社に改組。本瓦卓蔵が代表取締役社長に就任。
1981 年 3 月	ケミカル船の建造を開始。
1985 年 1 月	第二工場を鞆鉄鋼団地内に新設。ブロック製造工場として稼働開始。
1990 年 11 月	本瓦誠志が代表取締役社長に就任。
1991 年 4 月	CAD 設計システム GRADE DASH 及び配管設計システム GRADE/ESP を導入。
2001 年 6 月	旅客フェリーの建造を開始。
2006 年 2 月	セメント運搬船を建造。
2007 年 2 月	第二工場に G/T850 トンまで建造可能な No.2 船台が完成、稼働開始。
2009 年 3 月	ISO9001 を認証取得。
2009 年 10 月	G/T499 型電気推進船 SES ケミカルタンカーを建造。
2010 年 7 月	セメント船「清見丸」がマリンエンジニアリング・オブ・ザ・イヤー 2009 を受賞。
2011 年 9 月	第二工場事務所を新社屋へ移転。
2012 年 6 月	No.2 船台を G/T2000 トンに拡張。
2012 年 7 月	本瓦 誠が代表取締役社長に就任。
2014 年 11 月	本瓦 誠志会長が旭日双光章を受章。
2017 年 5 月	作業船「梅丸」がシップ・オブ・ザ・イヤー 2016 漁船・作業船部門賞を受賞。
2018 年 7 月	「液体貨物バラ積船」で特許（第 6368060 号）を取得。
2019 年 4 月	創立 70 周年を迎える。
2019 年 5 月	トップサイドタンク付ケミカルタンカー「第八越山丸」を建造。
2020 年 9 月	広島県働き方改革実践企業の認定を受ける。
2021 年 2 月	旅客定員 500 名の大型遊覧船「咸臨丸」を建造。
2021 年 2 月	「荷役時の船体姿勢自動制御方法」で特許（第 6831155 号）を取得。
2021 年 5 月	次世代省力化船「りゅうと」を建造。
2021 年 11 月	本瓦造船株式会社 SDGs 宣言。
2022 年 1 月	国土交通大臣より事業基盤強化計画の認定を受ける。
2022 年 2 月	「給油方法」で特許（第 7026911 号）を取得。
2022 年 5 月	ケミカルタンカー「りゅうと」がシップ・オブ・ザ・イヤー 2021 小型貨物船部門を受賞。
2023 年 3 月	第二工場に D/W2000 トンまで入渠可能な浮ドックを設置、稼働開始。
2024 年 1 月	第二工場事務所を「本社」に改称。本社機能を集約。
2024 年 3 月	水素とバイオディーゼル燃料を活用した日本初のハイブリッド型旅客船「HANARIA」を建造。





本社社屋外観

設備

効率的な社内一貫生産を実現するコンパクトなレイアウトになっています。「安全できれいな工場が高品質な船を造る」をスローガンに、安全管理・衛生管理に徹底して取り組んでいます。

第二工場（新造船 ／ 修繕船工場） Main Factory

敷地面積 10,800㎡



※自動船体姿勢制御・沈浮上システム搭載 ／ ライブカメラ監視システム搭載

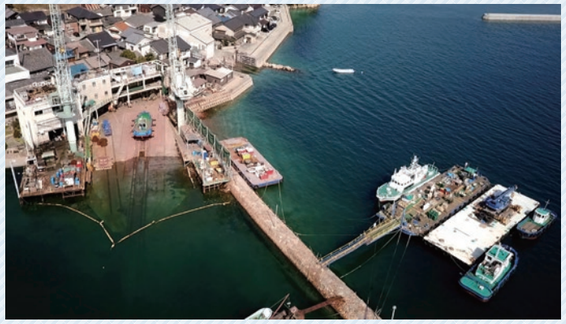
名称	長さ × 幅 (m)	総トン数 (G/T)	用途
No.2 船台 No.2 Slipway	90.0 × 16.0	2000	新造
アルミ船用定盤 Aluminum ship construction facilities	27.0 × 9.0	125	新造
艤装浮桟橋 Outfitting Floating Pier	45.0 × 10.0	2000	新造・修理

名称	能力 (ton)	数
No.1&2 走行ジブクレーン No.1&2 Mobile Jib Crane	40	2
橋形クレーン Gantry Crane	5〜10	2
天井クレーン Overhead Crane	1〜15	25

修繕用浮ドック	
入渠可能重量 Capacity	D/W 2.000トン
長さ × 幅 Length × Width	75.0m × 18.0m

第一工場（修繕船工場）

敷地面積 600㎡



名称	長さ × 幅 (m)	総トン数 (トン)	用途
No.1 船台	49.0 × 12.0	400	新造・修繕
艤装浮桟橋	25.0 × 10.0	400	新造・修繕

名称	能力 (ton)	数
No.1 ジブクレーン	15	1
No.2 ジブクレーン	10	1

第三工場（船体ブロック工場）

敷地面積 6,800㎡



名称	長さ × 幅 (m)	総トン数 (トン)	用途
アルミ船用定盤	49.9 × 16.0	24	新造

名称	能力 (ton)	数
天井クレーン	5〜20	6